

# 一 般 質 問 通 告 事 項

(令和4年第3回白岡市議会定例会)

第1通告者

1番 石 渡 征 浩 議員

1 行財政改革の進捗状況について

(1) 行財政改革による令和3年度（実績）と令和4年度（着地予測）の経費削減効果と増収効果は、3本柱である「歳出削減」「事務執行体制の見直し」「歳入確保」別に、金額ベースでどのくらいか。併せて、定量化できない定性効果についても伺う。また、令和5年度予測を含む将来見通しは、どのようになっているか。

2 令和5年度の予算編成方針について

(1) 令和5年度の歳入予算について、その見通し及び根拠を伺う。  
(2) 歳出予算の編成にあたり、予め、各部・各課に示す基本的な方針について、以下3点を伺う。

ア 全体を貫く方針

イ 6次総振の重点取組項目の扱い並びに強化する分野・施策

ウ 廃止・縮小する事務事業の基準及び個々の事務事業における予算編成時の考慮点

(3) 歳出予算は少し不足するくらいに組み、執行中に不足が明らかになった場合のみ、補正予算で対応すべきではないか。

3 過去の地方創生臨時交付金活用の振り返りと今後の方向感について

(1) 過去において、対応が相対的に薄い世帯・テーマ・分野・業界は、あるか。あるとすれば、その対象は明確になっているか。

(2) 次回に備え、事前に方針を決めておく必要があると考えるが、その方向感はあるか。

4 交通安全対策とそのフィードバックについて

(1) 通学路について、総点検の実施頻度、参加者及び点検内容とフィードバック方法を確認したい。

(2) 通学路以外に、市として、組織的に取り組んでいることはあるか。

住民の要望を積極的に吸い上げる仕組みはあるか。

- (3) 危険箇所・状況・対策などの要望を一覧表にまとめて進捗管理し、その内容を行政区に情報提供するべきではないか。
- (4) 側溝の蓋がけや道路の補修・改築に対する市民の関心は高い。その優先順位と対応の見通しを行政区にフィードバックすべきではないか。

## 第2 通告者

9 番 菱 沼 あゆ美 議員

### 1 防災の強化について

- (1) 避難所運営職員について伺う。担当は指定避難所ごとになっているのか。地域の人々と日頃のコミュニケーションが大切と考える。どのように取り組んでいくのか。
- (2) 「災害オペレーション支援システム」の運用は。以前質問した避難所開設後の混雑情報の発信については、どうなっているのか。近隣市町の避難所情報も必要と思うが、どうか。
- (3) この4月配布の「地震・洪水ハザードマップ」には福祉避難所の記載がないが、なぜなのか。
- (4) 建物が3階以上相当の県営住宅や企業などとの避難協定や連携の進捗状況はいかがか。
- (5) この夏も猛暑が続いている。児童生徒と避難者を守るために、避難所となる学校体育館のエアコン設置は喫緊の課題ではないか。真剣に検討し実現すべきではないか。

### 2 降雹被害の支援について

- (1) 6月3日の降雹では、特に農作物被害が大きいものだったが、被害状況の把握はどのように行ったのか。その実情は。
- (2) 県や市の支援策は。寄り添ったものになっているのか。

### 3 高齢者の孤立を防ぐ取組について

コロナ禍において、人との繋がりが薄れがちな中で、高齢者の孤立は深刻な場合があるのではないか。24時間対応の相談窓口を開設した自治体があるが、そうした取組が必要ではないか。

また、WEBアプリケーションによる見守りサービスも活用してはどうか。

#### 4 アピアランス（外見）ケアについて

- (1) がん患者の方のアピアランスケアは、社会参加や就労、生活の質を高めるためにも大切なことである。市として、どう捉えているか。相談センターなどの周知をしてはどうか。
- (2) ウイッグや乳房補正具などの購入費用助成をしてはどうか。

### 第3 通告者

15番 遠藤 誠 議員

#### 1 学校のにおい（教育支援センターは、学校のにおいがするのではないか。）

- (1) 教育支援センターの責任者が教員のOBでは、児童生徒は行きにくくないのか。
- (2) 学校のにおいがする教育支援センターは、児童生徒にとって行きたくない所に行かされているという感覚を持たないのか。

#### 2 教育機会の多様化について

- (1) 教育機会の多様化について学校の認識は。
- (2) 多様な機会にそれぞれ先生がいて、序列はついていないか。

#### 3 有害な男らしさ（男らしさは男女間格差を助長していないか。）

女性の活躍度を示す「ジェンダーギャップ指数」146か国中116位をどう改善するのか。

### 第4 通告者

3番 野々口 眞由美 議員

#### 1 行政のDXについて

行政のDXは、具体的に何を行うのか。

- (1) 住民の利便性を向上させるものは何か。
- (2) AI等の活用による業務の効率化を図るものは何か。
- (3) 電子決裁やデータ様式の統一化等、実務上のデジタル化はどうか。
- (4) デジタル人材の育成と確保はどうか。

(5) 課題は何か。

## 2 情報の届け方と活用について

市の情報もインターネットを利用した発信が増えている。しかし、インターネットを利用できない市民には、ますます情報が届きにくくなる。そこで、紙媒体での情報しか受け取れない市民のための情報の届け方や活用方法、さらに、市のPRも含むデジタルでの情報活用について伺う。

(1) 紙媒体での情報の活用について。

ア 広報しらおかの発行方法や配布について。

イ 災害時の情報伝達について。

ウ 目的別にまとめた情報の発信を進めてはどうか。

エ デジタル化に取り残されないためには何が必要か。

オ 課題は何か。

(2) デジタルな情報の活用について。

ア 市のPRとしてのインターネットの活用について。

イ 災害時も含む情報提供としてのインターネット活用について。

ウ 市の公式LINEの導入をしてはどうか。

エ 課題は何か。

## 第5通告者

2番 中村匡志 議員

1 ウクライナ戦争の影響による肥料高騰をふまえた市内農業の持続可能性について

(1) 今般の肥料高騰の影響と対策について伺う。

(2) しらおか味彩センターのコメ買取りを拡大してはいかがか。

2 いわゆる「農地法上の許可を条件とする売買」について（つづき）

(1) 平成20年12月1日付法務省通知（法務省民二第3071号）

1の「連絡票」は管轄の法務局において作成され、同通知2の通りとりまとめられているのか。

(2) 同通知3の「農業委員会との協議」はいつ行われたのか。法務局による情報提供は同通知3のいずれの方法により行われているのか。また、これまでに情報提供があった2号仮登記は何例あり、それぞれ

れどのような事案か。

- (3) 平成20年12月1日付農林水産省通知(20経営第4874号、20農振第1409号)1の「農業委員会の処理」は遵守されているのか。特に、(4)の「2号仮登記のうち対応を講じている農地一覧表」は作成されているのか。
  - (4) これまでに同通知1(3)の「対応」を講じた事例は何例あるか。特に、②の農業委員会による「借受者のあっせん」と③の「助言等」が行われた事例はそれぞれ何例あるか。また、これにより2号仮登記の抹消に至った事例は何例あるか。
  - (5) 2号仮登記未抹消事例につき、同通知1(4)にいう繰り返しの対応や県及び市への報告は行われているのか。
- 3 長すぎる建築行為による騒音等の被害について
- (1) 長すぎる建築行為につき、以下の観点から伺う。
    - ア 騒音規制法、埼玉県環境基本条例及び埼玉県生活環境保全条例  
その他の環境法令
    - イ 建築基準法、建築士法その他の建築関係法令
  - (2) 市街化調整区域においては住居から職人の研修所への用途変更は法令上できないはずであるが、無許可の変更にどう対処するのか。
  - (3) 建築確認を「余計な手続き」「排除」などと広告する行為につき、以下の観点から伺う。
    - ア 建築基準法第6条(建築物の建築等に関する申請及び確認)違反は犯罪となるか。また、その教唆(刑法第61条)や幫助(同法第62条)は犯罪となるか。
    - イ 不当景品類及び不当表示防止法第5条(不当な表示の禁止)、独占禁止法第19条(同法第2条第9項第6号ハ及び一般指定第8項にいう欺瞞的顧客誘引の禁止)、特定商取引法第12条(誇大広告等の禁止)、建築士法第10条第1項その他消費者保護法令及び業法の観点
  - (4) 長すぎる建築行為に対して、どう対処していくのか。埼玉県生活環境保全条例第3条第3項及び第4項の事業者の義務もふまえて答

弁されたい。

- (5) 当市では、騒音規制法第4条に基づく例規は制定されたのか。もしまだであれば、制定すべきではないか。

#### 4 市道128号線の改良等について

- (1) 事業中である実ヶ谷久伊豆神社以西の進捗状況を伺う。
- (2) 実ヶ谷久伊豆神社以東の事業化に着手すべき時期が来たのではないか。
- (3) 同路線につき、騒音規制法第18条第1項に基づく自動車騒音常時監視を行うべきではないか。

#### 5 教育委員会の情報公開について

- (1) 今年6月議会の一般質問への教育長答弁において、教育委員会は秘密会をなぜ要請しなかったのか。
- (2) 今後は必要な場合に秘密会を要請するよう実務を改めるか、教育長職務代理者（新たに教育長が選任されていれば教育長）に伺う。
- (3) その上で、当該事案の詳細について伺う。
- (4) 教育長辞任の理由について伺う。

#### 6 幼児の自転車乗り場について

当市における幼児の自転車乗り場について伺う。

#### 7 こもれびの森の利便性の改善について

- (1) ホール専用の出入口を設置してはいかがか。また、座席を固定してはいかがか。
- (2) チケットブースを設置してはいかがか。
- (3) 生涯学習機能ゾーンに関する提案の進捗状況について伺う。
- (4) 蔵書の拡充について伺う。
- (5) 相互利用及び司書の体制について伺う。
- (6) 郵便局及びコンビニエンスストアでの図書受取・返却サービスを導入してはいかがか。

#### 8 フォロ・シラオカーノ（f o r o S h i r a o k a n o）の形成に向けて～グランドデザインのある街づくり（前半）

フォロ・シラオカーノ構想についてどう考えるか。都市整備部長と

副市長の見解を伺う。

第6通告者

10番 渡辺 聡一郎 議員

- 1 バリアフリーのまちづくりを
  - (1) バリアフリー・ユニバーサルデザインの取り組みの現状について伺う。
  - (2) 駅周辺のバリアフリーについて改善すべき点があるのではないか。
  - (3) まちづくりにおけるバリアフリー・ユニバーサルデザイン推進計画の策定を。
- 2 一歩進んだ教育環境づくりを
  - (1) 市の英語教育の現状について伺う。(人員配置やカリキュラム等)
  - (2) 英語教育の改革が必要ではないか。「話せる・使える英語」を身につける教育を白岡市で。
  - (3) 農学部等のサテライトキャンパスや専門学校の誘致について伺う。
- 3 歯科検診の事業縮小について
  - (1) むし歯・歯周疾患予防の重要性について、市の考えを伺う。
  - (2) 成人歯周疾患検診事業が縮小した理由は。
  - (3) むし歯・歯周疾患予防事業のさらなる充実を。

第7通告者

6番 関口 昌男 議員

- 1 マイナンバー制度の普及状況と様々な課題について
  - (1) マイナンバー制度の基本的問題点について。
  - (2) 予算の使い方を伺う。
  - (3) 「デジタル化」による利用拡大についての行程計画は。
  - (4) マイナンバー制度の問題点は解消できたのか。
  - (5) 個人情報保護の問題について。
  - (6) 国に向けて市としての対応を。
- 2 人事院勧告と白岡市役所で働く労働者の給与改善について
  - (1) 2022年人事院勧告について。
  - (2) 白岡市役所職員の給与改定の見通しは。
  - (3) 職員の時間外労働の実態について。

- (4) 白岡市の高卒初任給と最低賃金との関係について。
- (5) 定年制度延長問題について。
- 3 「白岡市パートナーシップ宣誓制度」の制定を歓迎する
  - (1) 「パートナーシップ宣誓制度」制定までの経過について。
  - (2) しらおか男女共同参画推進会議はどのような内容だったのか。
  - (3) 今後の検討課題はどのようなになっているのか。
  - (4) 制度の性格については。
  - (5) 市長の考えを伺う。

第8通告者 14番 大島 勉 議員

- 1 埼玉版スーパー・シティプロジェクトへのエントリーについて
  - (1) エントリーすることで何を指すのか。
  - (2) 立地適正化計画との関係性は。
  - (3) どんな街づくりが実現するのか。

第9通告者 4番 齋藤 信治 議員

- 1 保育の質の向上を  
保育を次の段階に、量の確保から質の向上に引き上げていく時期と考える。
  - (1) 医療的ケア児の保育について
    - ア 医療的ケア児とは。
    - イ 県や他自治体の状況は。
    - ウ 当市での実態は。
    - エ 病院などの協力が必要ではないか。
  - (2) 休日等の保育について
    - ア 学童保育や保育所の開所曜日と時間は。
    - イ 休日に仕事をする、出勤が早い、帰りが遅いなど、保育の利用が困難な人がいるが、どうするのか。
    - ウ 保護者の通院や冠婚葬祭などのため、児童館などで一時保育や休日保育ができないか。

エ 医療的ケア児を受け入れられないか。

(3) 保育士等の処遇改善に向けて

保育の質向上のためには保育士等の増員が必要だが、集めるのに苦勞している。低い報酬や厳しい労働環境が一因。改善に向け県や国に対して強く働きかけるべきと思うが、いかがか。

2 電力のひっ迫に対して

猛暑と電力不足の懸念が、学校生活に影響していないか心配だ。脱炭素を促進し、電力の安定供給を図る。すなわち電気の地産地消を進めるべきと考える。

(1) 小中学校に太陽光パネルを

ア 市内小中学校の空調設備の利用状況は。

イ 安定した電力供給は、子どもたちの学習環境の改善につながると考えるが、いかがか。

(2) 幼稚園・保育園に太陽光パネルを

ア 市内（公立・私立）保育園や幼稚園での設置状況は。

イ 公立保育所に設置できないか。

ウ 幼稚園・私立保育園に設置の補助金を出せないか。

エ 小学校で発電した電気を学童保育で使えないか。

第10通告者

8番 中山 廣子 議員

1 投票環境向上の取組について

(1) 高齢や障がいにより、投票に困難を伴う方への配慮はどのようになっているか伺う。

(2) 投票事務に従事する職員の研修について伺う。

(3) 投票所などの環境整備について伺う。

2 困難女性支援法について

本年5月に「困難女性支援法」が超党派の議員立法で成立した。施行は2024年4月。国は基本方針を、都道府県は基本計画を策定、市町村は計画策定を努力義務としている。本市として女性支援基本計画の策定をすべきではないか。

### 3 子育て世代に寄り添う取組について

- (1) 「ベビーベッド貸出事業」の拡充について伺う。
- (2) 本庁舎への「キッズコーナー」の設置について伺う。

## 第11 通告者

5番 山崎 巨裕 議員

### 1 公共施設のクールシェアスポット活用について

- (1) 猛暑による熱中症対策について、市は今どのようなことを行っているか。
- (2) 「クールシェアスポット」というアイデアについて、市はどう考えるか。
- (3) 猛暑対策として、市の施設をクールシェアスポットとして活用してはと考えるが、いかがか。

### 2 学校給食費の一部補助について

- (1) 食材費高騰にもかかわらず、今年度給食費は値上げせず、食材費の高騰部分は市が補助するとの英断があったが、計上された予算で収まるのか。
- (2) 予算内で収まらない場合の対応はどうするのか。
- (3) 「白岡の学校給食はおいしい」は白岡の誇り。質・量ともに現状を維持していただきたいが、いかがか。
- (4) 来年度も給食費の値上げはせず、市の補助を継続していただきたいが、いかがか。

## 第12 通告者

7番 松本 栄一 議員

### 1 通学路及び生活道路の安全対策について

身近な生活道路には、事故が起きていなくても危険が潜む交差点がある。また、小中学校への通学路においても、「朝夕は交通量が多く市街地への抜け道に使われている」、「交差点の先が見通しづらい」等の危険場所が、市内においても多く見られる。

- (1) 市内の小中学校の通学路・生活道路において、交通事故の発生件数は何件か。

- (2) 通学路・生活道路ともに歩道がない場所では、路側帯及びグリーンベルトが敷設されているが、劣化や工事跡で効果を発揮していない。どのような道路に路側帯等を敷設しているのか。また、今後の補修計画はあるのか。
- (3) 通学路・生活道路ともに信号機がない交差点は、路面に白文字での「止まれ」が大部分である。危険度の高い交差点は標識と同様に赤地の「止まれ」に改善し、交差点内を赤色で舗装して、注意喚起を図れないか。

## 2 地域部活動推進事業について

公立中学校の運動部活動について、スポーツ庁の有識者会議が本年6月、休日の活動を地域のスポーツ団体に委ねる「地域移行」を推進し、2023年度からの3年間で「改革集中期間」との提言をまとめた。また、休日の文化部活動について、文化庁の有識者会議が、今日9日、文化部活動を校外の団体などに委ねる「地域移行」を運動部活動と同様、2023年度から3年間で「改革集中期間」として提言している。

当市の令和3年度実践研究期間では、運動部が市内4校8運動部活動、文化部が市内2校2文化部活動で実施した。令和4年度は規模を拡大して、令和5年度から市内4校全部活動で移行する予定としている。

- (1) 各中学校別の現在の運動部数と文化部数、及び各々の休日の活動部数は。また、各校の少人数の活動部数は。
- (2) 運営・指導の委託先に「スポーツデータバンク（株）」を選定したが、入会する地域指導者数及び教職員数は。また、部の顧問で実技の指導は不得手だが、生徒の指導を希望する教職員は入会可能か。
- (3) 運動部・文化部ともに練習や大会参加時には場所、用具、備品が必要で学校の管理下にあるが、休日の管理をどのようにするのか。
- (4) 「スポーツデータバンク（株）」への委託費の不足額を「クラウドファンディング型ふるさと納税」で補う予定だが、不足時はどうするのか。また、県からの研究委託費の期限は何年度までか。

- (5) 合同部活動は、少人数で活動している部にとっては朗報であるが、活動拠点、用具、備品などの管理はどうするのか。また、県大会や地区予選会などに参加する方法はあるのか。
- (6) 平日練習から休日の指導員への引継ぎで、教職員の負担が増えないか。また、指導方針が異なると生徒の「やる気」が失われ、指導者との信頼関係が築けないと危惧するが、引継ぎの方法は。
- (7) 当市は、県内他市より数歩も先んじており、「改革集中期間」内に、教職員の働き方改革の成果を得ると思うが、生徒の中には部活動に励み、大会やコンクールで優勝・入賞を目指す者もいる。部活動ではチームワークが重要であり、どのように指導していくのか。

### 第13 通告者

16番 黒 須 大 一 郎 議 員

#### 1 未来を見据えた社会基盤を（Ⅱ）

- (1) 県内有数の交通量を誇る県道3号線や慢性的な渋滞道路の同78号線が関連した市道の渋滞や安全性の低下を県や関連機関とどのように協議して課題の解決をしていくのか。
- (2) 駅前市の顔、市への入り口とも言える。今、策定中の立地適正化計画では、都市構造の課題を掲げ4つの目標を基本方針として進めている。現在の市の道路状況や交通環境でそれらを成し遂げられると考えているのか。
- (3) ガタガタで再舗装が必要な市道や未舗装の市道、通学路の歩道も片側しか無く大型車両のすれ違いが難しい区間などは、今の予算措置等では遅々として進まない、どうするのか。
- (4) (1)から(3)を進める市として、やるべきことができる体制を。そして、そのためのロードマップはどういうものか。

#### 2 特産品の開発状況は

- (1) 官民一体の取組を必要とした特産品開発は、どのような工程で進めているのか。
- (2) 柴山沼周辺の観光地化を推進するため、鋭意検討するとの答弁があった。どうなったのか。

### 3 地域部活動推進事業を進めるに当たって

- (1) 本事業の予算は、県からの委託費とクラウドファンディングが主財源のようだ。クラウドファンディングを含め、本事業の委託者（責任者）は。
- (2) 本事業の委託先スポーツデータバンク（株）と教育委員会、学校（教職員）、指導者、生徒、保護者（PTA）の関係は。
- (3) 今、教育長が不在である中、教育委員会が万全の態勢で本事業を推進していくことに対して危惧する点が多い。どうするのか。

## 第14 通告者

17番 石原富子 議員

### 1 介護保険事業計画の見直しについて

2024年度の介護保険制度の改正に向けて、厚生労働省の社会保障審議会・介護保険部会が議論を始め、また、財務省の社会保障審議会でも、第9期介護保険事業計画の改正に向けた議論が始まっている。

大きな改正の論点は、◇要介護1・2の高齢者を軽度者とする。◇居宅介護支援におけるケアプランの有料化◇介護給付の利用者負担を原則2割にするなど。

これらは利用者の負担増と市の負担増に直結する。

- (1) 市内の65歳以上の人数。75歳以上の人数。また、要介護1・2までの高齢者は何名いるか。
- (2) 世帯主が65歳以上の単独世帯や夫婦のみ世帯数は何世帯か。また、2025年に75歳以上の人口は何人になるか。
- (3) 地域別の認知症高齢者数は把握しているか。
- (4) 全国的に要介護認定率は上昇しているが、白岡市は年間何名が認定を受けているか。今後の見通しはどうか。
- (5) 現在、介護保険の1割負担の高齢者の人数と市の負担額は幾らか。金額は幾らか。
- (6) 今後益々居場所づくりが求められてくる。居場所づくりの具体策を伺う。
- (7) 2024年の白岡市高齢者福祉計画・第9期介護保険事業計画の

改正に向けて、市はどのような準備をしているか。

- (8) 今回、改正の論点として出されていることが実施された場合、市民への影響、財政的な影響はどのようなものになるか、市長のお考えを伺う。

第15通告者 12番 中川幸廣議員

1 路線バス運行後の状況と「市」としての支援について

7月1日より市内で2路線の「業者」による定期バスの運行が開始された。その様な中で今後の「市」としての「支援」や「要望」について伺う。

2 市内の各小学校や中学校で、土曜日や日曜日に学校開放時に使用する道具や設備について

学校開放時に使用する道具や設備について道具が使用できない状態であるとか、設備の修理が必要なのにそのまま使用しているという状態があるとの相談を保護者より聞く。

この様な学校開放時の道具や設備の維持管理について誰が点検し誰が修理等を行うのか伺う。

第16通告者 13番 細井公議員

1 白岡篠津線の現状について

都市計画道路白岡篠津線は、県道間のバイパスとして、県道認定の要望が必要と考えるが、いかがか。

また、県道白岡停車場南新宿線との取付部の丁字路について、早急な信号機設置を求めるが、考えを伺う。

2 白岡駅の駅員不在の問題について

白岡駅は、利用客数がある程度順調に推移している状況であるにも関わらず、一部時間帯の駅員不在は変わらず不便な状況が続いている。駅員は単に案内係ではなく駅構内の安全点検の役割もある。

住民の安全確保のためにも駅員の再配置を強く要望すべきでは。

- 1 南小学校と天使幼稚園の間の道路の車歩道分離化について
  - (1) 現在、当該道路箇所の車歩道分離化の動きはどうなっているのか。
  - (2) いつ実現されるのか。
- 2 市のHPに掲載されている「新白岡駅周辺地域におけるエリアマネジメントの推進に関する協定締結」について
  - (1) 「エリアマネジメント」とは何か。「街活性室株式会社との協定締結の中味」は、何時までに「当該エリアマネジメントの成果」を出す予定なのか。
  - (2) 「エリアマネジメントの主旨」に基づけば、市民一人一人に呼びかけ、主旨を理解してもらい各々の活動を開始してもらうものと考ええる。よって当市の行政区の区長に提案、各行政区の会議で討議検討してもらうべきと考えるがいかがか。
  - (3) 今後、各定例議会において、今回の市の対応のその時点での成果と進ちよく具合につき、継続して質問していくので、議事録のみならず、その度毎の総括レポートを作成していただきたいが、いかがか。